

事務事業マネジメントシート(平成24年度実績と平成25年度計画)

平成26年 1月10日 更新

事務事業名		回覧板配布事業					☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり				所属部	総務部	課長名	中村誓丞
	施策	14	市民参画によるまちづくりの推進				所属課	総務課	担当者名	岐部則夫
	基本事業	41	地域づくり(まちづくり)人材の育成				所属班	総務・男女共同参画班	(内線)	1216
予算科目		会計一般	款2	項1	目1	事業連番11492	法令根拠			
終了、開始年度		☐ 24年度で終了 ☐ 24年度から開始					事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返(開始年度 22 年度) ☐ 期間限定複数年度		
								成果優先度評価結果 : ⑫ コスト削減優先度評価結果 : ⑥		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	○行政情報を市民へ周知するための平成22年に作成した回覧板を破損したもの等を入れ替えを区からの要望にしたがって行った。各地区へ配布する事業。現在、広報その他の文書を各地区の囑託員(区長)・連絡員を通じて配布及び回収している。(今後も3年に1回の予定で新規事業として計画していく予定であったが在庫があるため、在庫がなくなり次第作成することとする。) ○これまで回覧板については、広告代理店が含志市の地元企業の広告費を製作費として3年に1回の間隔で作成し配布していた。前回は平成19年4月に1、524部各地区へ配布し、その後各地区から補充の依頼、再配布の依頼があったが希望数の一部を配布したにとどまっている。 ○行政情報を市民へ周知するため、広報その他の文書を各地区の囑託員(区長)・連絡員を通じて配布及び回収していく仕組みは今後も継続し続けて行くことが予想される。回覧板は消耗が激しく、また、住宅開発等で回覧する組・班等が増加している現状から、回覧板の必要数は今後も増加することが予想される。不足等の申し出があった区に配布を行なった。23年度以降は不足分の補充、及び破損・汚損の取替えを囑託員(区長)の申し出に応じて随時行う。 ○平成23年度に泉ヶ丘支所の以前の看板を改修し、設置した。 ○回覧板については随時破損等の分については取替えを行ってきた。
【業務の流れ】	各区からの要望にしたがい随時取替えを行った。また、消費生活センターの啓発のため電話番号を掲載した。
【主な予算費目】	
【意見や要望】	関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 区長や自治会長から、新たな組・班の追加や更新のための回覧板の要望があがっている。クリアケースと回覧板をセットとする案を議員から提案を受けた。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
①手段(主な活動) 24年度実績(24年度に行った主な活動)(DO)		25年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
不足、破損等分の補充配付を行った。		25年度以降に須屋市民センターが改修が終わるので、看板を設置する。	
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
→ ア:各地区必要枚数	枚		
イ:			
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	②対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)	
各地区	→ ア:地区数	地区	
	イ:		
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)	
行政情報を各地区の市民に円滑に周知できる。	→ ア:情報が伝わった世帯数	世帯	
	イ:情報が伝わった世帯数の割合	%	
*③成果指標設定の理由と25年度目標値設定の根拠			総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2)各指標・総事業費の推移										
		単位	22年度 実績(決算)	23年度 実績(決算)	24年度 目標(当初予算)	24年度 実績(決算)	25年度 目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標		枚	5,500	0	0	0	0			
② 対象指標		地区	83	83	83	83	83			
③ 成果指標		世帯	18,705	18,251	20,105	18,313	21,000			
		%	87	87	87	87	87			
投資 入費 量	事業 内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	2,365	290					
	(A) 事業費計	(A) 事業費計	千円	2,365	290	0	0	0		
		(A) のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0		
		(A) のうち時間外・特勤	千円	0	0	0	0	0		
	人件 費	正規職員従事人数	人	3	7	0	2	0		
		延べ業務時間	時間	320	114	0	22	0		
		(B) 人件費計	千円	1,318	460	0	89	0		
トータルコスト(A)+(B)		千円	3,683	750	0	89	0			

事務事業名	回覧板配布事業	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	---------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部（SEE）

*原則は24年度の事後評価、ただし複数年度事業は24年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①24年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【原因】	
	事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？		
	②25年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】	
	事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？		
有効性評価	③成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】	
	次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？		
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☒ 他に手段がない ⇒【理由】	
	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】	
	成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）		
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】	
	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）		
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】	
	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？		
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】	
	事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？		

3 評価結果の総括（SEE）

※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）	(2) 改革・改善による期待成果（廃止・休止の場合は記入不要） <table> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																						

合志市